

平成 30 年度 事業報告

当財団では、国際見本市会場「インテックス大阪」の管理・運営および誘致・利用促進活動、自主企画事業に努めたほか、在阪中小企業の国際ビジネス活動の支援や、国内外企業の大阪への誘致を推進するなど、関西経済の振興、発展、国際化に資する諸事業を実施してまいりました。

1 インテックス大阪の管理・運営

当財団は大阪市のモニタリング評価を経て、平成 29 年度より新たな 5 年間の「インテックス大阪」の管理・運営を行うこととなり、さらに同年 10 月には大阪市の外郭団体指定解除となりました。

当年度においても有力企業 3 社（一般社団法人日本能率協会、株式会社イノベント、株式会社電通関西支社、）との提携により、国際的な見本市等の誘致・開催、運営能力・各種サービス提供の向上、見本市等（自主企画事業）の事業企画力や主催ノウハウ・商談活性化ノウハウの蓄積、効果的・効率的なマーケティング・広報活動、自主企画事業の出展者募集・バイヤー集客のための周知等を図ってまいりました。

また、鹿島建物総合管理株式会社と共同事業体を組成し、施設・設備の機能向上、駐車場の確保や利用者への利便性の向上等のハードソフト両面において、一体的かつ柔軟な管理運営を行ってまいりました。

さらに、提案型のきめ細かな営業活動を進めるとともに自主企画事業の開催と商談活性化を推し進め、多くの魅力ある見本市・展示会などを開催いたしました。

具体的には

- ① 海外拠点を持つ旅行代理店と連携し、海外からのインセンティブ・ツアーのサポートやアフターコンベンションのツアー企画などを行い、更に大型展示会・見本市開催時には受付用の特設カウンターを設置し、CSの向上に努めてまいりました。
- ② 「大阪」の情報発信基地として、多様なサービス提供の取り組みとして、観光・宿泊・交通・食事等、アフターコンベンションの情報提供等を行いました。
- ③ 大規模国際展示場として国内初となる位置情報サービスを導入し、来場者の回遊データや各催事での来場登録・マッチングなどの未来的サービスの提供が出来るよう、1～5号館に位置情報サービス設備を導入いたしました。
- ④ インターネットワンストップサービスの本格提供を開始し、オンサイト保守、会期中の保守の対応も可能となり、利用者の利便性の向上を図りました。
- ⑤ 昨年度より開催している『インテックス大阪 安全大会』を継続開催し、本年

度は施工時の『安全・安心』を向上させるため、10月1日より高所作業時・危険作業時のヘルメットの着用と、安全帯の使用を義務化いたしました。

- ⑥ 来場者へのアンケート調査の実施や「ご意見箱」により、お客様のニーズを把握するとともに、インフォメーションセンターに寄せられる意見や問合せをサービス向上や事業運営に活かしてまいりました。
- ⑦ 屋上駐車場(900台)、中ふ頭駐車場(990台)及び2カ所の臨時駐車場(1,070台)を効率的に運営し、利用者の利便性の向上に努めました。
- ⑧ インテックスビジョンやデジタルサイネージを活用し、各種イベント・近隣施設・店舗案内などの情報を発信しました。また、来場者や近隣住民に対しても地震発生時の緊急災害速報などを発信し対応してまいりました。
- ⑨ 女性来場者の増加に伴い、3号館と6号館の間にパウダーコーナーを備えた多目的トイレを含め、17室の女性メインのトイレを新設し、利便性の向上を図りました。
- ⑩ 中央監視システムや防災設備の更新を始め、火災報知器・非常放送設備の更新等、防災センターの機能強化を行い、更なる「安全・安心」を担保してまいりました。
- ⑪ 老朽化が見られた全館シャッターの改修を行い、危害防止装置(はさまれ防止)を設置しました。
- ⑫ 老朽化している5号館空調設備(熱源)を全面更新しました。
- ⑬ 施設内売店の見直しを行い、西ゲートコンビニでは『大阪お笑いの発信源』である吉本興業株式会社と連携しグッズの販売を実施、6号館東ミニコンビニでは、大阪土産の販売も実施させ、より大阪らしい商品展開を行いました。
- ⑭ 2019年開催の「G20サミット首脳会議」を安全・安心、快適に開催できる環境づくりに向け、大阪市と協議の上、施設の設備改修等を行いました。
- ⑮ インバウンド対応の一環として、一部Wi-Fi対応を行いました。

2 誘致・利用促進活動

ビジネスショー(B to B)としては「INTERMOLD 2018・金属プレス加工技術展」、「JECA FAIR 2018」、「フードストアソリューションズフェア」、「ビューティーワールド ジャパン ウェスト」、「セレモニージャパン」、「Japan IT Week 関西」等が開催されました。また一般ユーザー向けのイベント(B to C)としては、「日韓ぐるタメフェス in 大阪」、「大陶磁器まつり 2018 in 大阪」、「大阪オートメッセ」、「Radio Crazy」等が開催されました。その他、企業利用としては「武田薬品工業 臨時株主総会」「堺化学工業 100周年記念式典」、研究発表会としては「第50回全国保育団体合同研究集会」、福利厚生イベントとしては「大阪メトロ社員運動会」、コンサート・アーティストCD販促手段としての握手会等が開催され、開催件数としては233件で過去最高となりま

した。

直接訪問による営業活動を重視し、誘致・利用促進活動、情報提供・広報活動を積み重ねたことにより、見本市・展示会だけでなく、カンファレンス・パーティ等の MICE 関連の開催や各種資格試験や入学試験、就職支援イベント、コンサート・握手会の利用が増加し、総開催件数の増加につながりました。

(1) 誘致・利用促進活動

- ① 各種見本市・展示会等がインテックス大阪で開催されるよう、首都圏・関西の業界団体や主催者・運営会社等を継続的に直接訪問し、誘致活動に努めた結果、新規案件 24 件の開催となりました。
- ② インテックス大阪で開催実績のある主催者・運営会社に対しては、アフターフォローを一層密にし、改善意見の収集・フィードバックなど、継続開催に向けた利用促進に努めた結果、209 件が継続開催となりました。
- ③ 咲洲地区周辺施設(ATC ホール、ハイアットリージェンシー大阪、ホテルフクラシア大阪ベイ)や大阪国際会議場(グランキューブ大阪)とともに大規模な国際会議・学会・海外インセンティブ等の主催者・運営会社等に対して、大阪観光局とも連携しながら、誘致活動(提案書作成、視察対応等)を行いました。
また、咲洲地区周辺施設で「大阪ベエリア MICE」を組成し、共同でパンフレットの作成やホームページを開設し、海外からの問合せにも咲洲地区で対応できる体制作りに取り組みました。
- ⑤ 6号館Cゾーンに試験会場用備品を常設し、主催者の設営コストの削減を図るとともに、より柔軟な対応が可能となったことで、試験や企業ミーティング・講演会等の多目的利用に繋げることができました。
- ⑥ 首都圏・関西圏の主催者・運営会社等を対象に、利用促進活動の一環として、インテックス大阪交流会(情報交換会)を大阪と東京で開催し、見本市・展示会等の開催実現に向けたセールスプロモーション、ネットワークづくりに努めました。
- ⑦ 展示会産業に携わる関係者・施設間の交流を図る「日本展示会協会」や、全国 55 の展示施設が加盟する「全国展示場連絡協議会」への参加等、展示会ビジネス関係団体との交流を強化し、見本市・展示会の最新情報を収集するとともに、需要の開拓に努めました。

(2) 情報提供・広報活動

- ① ホームページ上に、活用事例として用途別の各レイアウト図面や国際会議ホールの単独使用を載せるなど、コンテンツの改良・改善に随時努めた結果、展示会・見本市・大型セミナー・学会・パーティ等 MICE 案件での開催を検討する主催者・

運営会社の利便性向上につながり、新規案件の引合いが増加しました。

- ② 大阪ベイエリア連携会、コスモスクエア開発協議会等に参画し、地域集客の推進などを通じて地域の活性化に努めました。
- ③ ホームページやエリア情報誌である「ベイエリア NOW」、SNS(Facebook、Instagram)を活用する事により、イベント情報を定期的に発信し、来場者の利便性向上を図りました。
- ④ ダイレクトメール(メルマガ)により施設改修等の情報を定期的に発信し、主催者・運営会社との情報共有を図りました。
- ⑤ 地下鉄主要駅への構内ポスター掲載、大阪産業創造館が発行するビジネスフリーペーパー「Bplatz press」への掲載を通じて、主催者の広報活動(バイヤー招致活動)を支援してまいりました。
- ⑥ 施設内にある広告看板スペースの利用促進を図り、賑わいを演出すると共に広告収入の改善を図りました。

3 自主企画事業

財団の自主企画事業の開催や商談の活性化に努め、以下の事業を行いました。

- ① 6月に「第3回サービスロボット開発技術展」(第2回産業用ロボット開発技術展及び第2回ロボット IT ソリューション展併催)を開催し、65社・団体、80小間の出展、10,765名の来場者を得ました。
- ② 8月に「第3回関西教育ICT展」を開催し、103社・団体、158小間の出展、8,291名の来場者を得ました。
- ③ 9月に第11回目となる「2018 浙江省輸出商品(大阪)交易会」並びに「2018 大阪国際ライフスタイルショー」を併催展として初開催し、166社、270小間の出展、4,550名の来場者を得ました。会場では当財団所属コーディネーターが主体となり「商談コーナー」を設置・運営し、会場内無料通訳の提供によるビジネスマッチングを実施したほか、中国貿易企業の協力も得て「貿易相談コーナー」を運営しました。また、中国ビジネスや雑貨品業界に精通した専門家を招き連日セミナーを開催しました。
- ④ 開催10周年を迎える「LIVING & DESIGN 2018」の運営業務をサポートいたしました。「“NEXT FRONTIER” 新たな時代へ」をテーマに新規出展社30社に加え、海外からも29社が出展し、121社・118.5小間により6,197名の来場者を得ました。
- ⑤ オリーブオイルに特化した商談型国際専門見本市「オリーブオイル関西」は会期を10月から5月(2019年5月14日~16日開催予定)に変更したため、次回開催に向けてイタリア・ヴェローナや大阪での食の見本市に出展し、当該見本市のプロモーション活動を実施いたしました。

- ⑥ 商談の活性化については、上記主催事業の出展者・来場者双方に財団所属コーディネーターより積極的に働きかけるなどして、展示会における商談の活性化を行いました。

「2018 浙江省輸出商品（大阪）交易会」並びに「2018 大阪国際ライフスタイルショー」では、以下の施策により、事後のフォローを含め約 391 件の商談を支援いたしました。会期前には、出展者に対し商談希望アンケートを行い、会場での商談補助では、来場者に対して主催者ホームページ上にてマッチング事前希望を受け付けるとともに、会場内の商談コーナーにマッチングコーディネーター・中国語通訳が常駐し、オンサイトでのビジネスマッチングを実施いたしました。さらに、出展者や来場バイヤーの問合せに対し、日中貿易の専門家が応じる「貿易相談コーナー」を設置いたしました。

4 国際部事業

国内外企業・研究機関等のおお阪への誘致活動、アジア・太平洋地域の主要 14 都市が加盟するビジネスパートナー都市提携（BPC）等の海外ネットワークや大阪市海外事務所を通じて在阪中小企業の国際ビジネス活動の支援や経済交流の促進に取り組みました。

A. 企業誘致推進事業

(1) 広報事業

- ①大阪市のオープンイノベーション推進事業及びベンチャー成長促進事業を行う拠点やイノベーション創出支援の取組等に関する情報コンテンツの作成

1) 「大阪市イノベーション拠点紹介」チラシのデザイン・制作

発行部数：日本語版 500 部

2) INVEST OSAKA ウェブサイトの「イノベーションページ」の更新・追加

- ②大阪進出関心企業等をターゲットとした広告の掲載

日本経済新聞東京本社版における広告の掲載

発行部数：2,358,288 部 掲載日：2019 年 1 月 11 日（水）

日本経済新聞電子版におけるバナー広告の掲載

有料会員数：651,702 名

広告掲載日：2019 年 1 月 9、10、11、15、16、17、18 日

- ③プロモーション用パンフレット等の作成

1) 大阪市企業誘致プロモーション PR 広告記事の作成

「BZ 空間」発行部数：日本語版 4 万部（総読者数 18 万人）

2) 大阪市企業誘致パンフレット「INVEST OSAKA 2018」の改訂

〈発行部数〉日本語版 2,000 部

英語版 1,000 部

中国語版 1,500 部

- ④大阪市の総合企業誘致・立地支援サイト「INVEST OSAKA」や Facebook 等の SNS、
メールマガジンを活用した投資情報等の発信

〈INVEST OSAKA ウェブサイト 2018 年度トップページアクセス数〉

日本語版：5,487 件 英語版：2,530 件

中国語版：921 件

〈メールマガジンの配信回数〉 年：14 回

〈フェイスブックページ等 SNS 投稿回数〉 年：134 回

- (2) 進出有望企業情報の収集及び発掘アプローチ事業

外部機関の活用、国内展示会出展企業等へのアプローチ、大阪立地プロモーションセミナーの開催を通じて進出有望企業の情報収集と発掘を行いました。

個別アプローチ件数：410 社 大阪市職員との個別面談企業数：32 社

- ①調査機関・コンサルティング企業等を活用した進出有望企業情報の収集及び発掘アプローチ

発掘アプローチおよび面談企業：30 社

- ②国際見本市を活用した進出有望企業等の情報収集・発掘

発掘見本市数：18 件 見本市での発掘企業：380 社

- ③大阪関心企業発掘セミナーの開催

【大阪立地プロモーションセミナー】

開催日：2019 年 1 月 31 日(水)

開催場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

主催者：大阪府／大阪市／(一財)大阪国際経済振興センター

構成：第 1 部 セミナー 第 2 部 交流会

セミナー参加人数：98 名 交流会参加人数：75 名

- (3) 企業進出・定着支援事業

- ① 相談窓口の設置

〈事業用地・オフィス物件等の情報提供〉

提供社数：33 社 提供物件数：187 件 (内、視察数：41件)

- ② ビジネスサポートオフィスの運営 (個室 6 室、シェアオフィス 1 室)

〈2018 年度運営実績〉利用企業数：12 社 (6 カ国・地域)

- ③ 大阪への進出関心企業の支援

〈招聘実績〉 39 回/31 社 (11 カ国・地域)

- ④ 大阪進出企業定着支援事業

〈第21 回大阪ビジネス交流クラブ〉

開催日時：2018年11月6日（火）

開催場所：大阪商工会議所 6階 白鳳の間

参加人数：60名

〈第22 回大阪ビジネス交流クラブ〉

開催日：2019年3月5日（火）

会場：大阪商工会議所 6階 白鳳の間

参加人数：61名

⑤ 大阪に本社を置く企業へのビジネス情報配信業務

〈メールマガジンの配信回数〉 12回／年

B. 経済交流推進事業

(1) BPC 等における海外ビジネス促進事業 企業ミッション団派遣並びに海外商談会

① オーストラリア・メルボルン市 企業ミッション団派遣および訪問型商談

・実施時期：2018年12月17日(月)～19日(水)〈3日間〉

・実施場所：オーストラリア・メルボルン市

・参加企業：3社(4名)

・オーストラリア商談先数：12社

・商談件数：34件

(2) BPC 等における海外ビジネス促進事業 見本市出展

① フード & ホテル・タイランド 2018

・実施時期：2018年9月5日(水)～8日(土)

・実施場所：バンコク・インターナショナル・トレード&エキシビション・センター(BITEC)

・支援企業数：6社(6小間)

・商談件数：313件

② ビューティーアジア・シンガポール 2019

・実施時期：2019年2月25日(月)～27日(水)

・実施場所：サンテックシンガポール国際会議展示場

・支援企業数：8社(8小間)

・商談件数：228件

(3) 大阪でのBPCとのビジネス交流事業 商談会

① タイ国美容関連商談会 2018 (大阪)

・開催日：2018年6月14日(木)

・開催場所：大阪産業創造館 3階 マーケットプラザ

・来日企業数：5社

- ・参加日本企業：20社
 - ・商談件数：58件
 - ・商談品目：スパ、ボディケア、スキンケア、フェイシャルオイル 他
- ② フィリピンビジネス商談会 2018(大阪)
- ・開催日：2018年7月27日(金)
 - ・開催場所：りそなグループ大阪本社 地下2階 大会議室
 - ・来日企業数：6社
 - ・参加日本企業：24社
 - ・商談件数：54件
 - ・商談品目：工業用品(自動車部品、電子部品、プラスチック製品等)
- ③ ベトナム IT 商談会 2018 (大阪)
- ・開催日：2018年8月30日(木)
 - ・開催場所：ハイアットリージェンシー大阪 2階 クリスタルボールルーム
 - ・来日企業数：16社
 - ・参加日本企業：29社
 - ・商談件数：112件
 - ・商談品目：ソフトウェア開発、ITアウトソーシング、ITメンテナンスサービス、ITコンサルティングサービス、ブロックチェーンサービス、システム開発、アプリケーション開発、ITパーク運営等
- ④ 香港食品バイヤー商談会 2018 (大阪)
- ・開催日：2018年10月30日(火)
 - ・開催場所：マイドーム大阪 8階 第1・2・3会議室
 - ・来日企業数：14社
 - ・参加日本企業：36社
 - ・商談件数：90件
 - ・商談品目：健康食品、水産、清涼飲料、和菓子、茶、調味料 他
- (4) 大阪でのBPCとのビジネス交流事業 セミナー
- ① インドネシア ハラルビジネスセミナー2018
- ・開催日：2018年11月8日(木)
 - ・開催場所：大阪産業創造館 4階 イベントホール
 - ・出席者数：141名
- (5) 広報活動
- ① メールマガジンを活用したBPC 事業及び海外ビジネス関連情報の発信
 〈メールマガジンの配信回数〉 年：55回
 〈広報協力件数〉 年：159件
- ② SNS での情報発信

〈SNS（フェイスブック等）投稿回数〉 年：230回

③ ウェブサイトを活用した情報発信

〈2018年度トップページアクセス数〉日本語版：10,316 英語版：857

〈全体ページビュー〉 年：26,739

〈ウェブサイト訪問回数〉19,950

④ FAX レポート配信 〈FAX レポート送付数〉7,734件

⑤ 広報用パンフレットの制作、情報発信

発行部数： 日本語版1,000部 英語版100部

配布期間：2018年4月～2019年3月

配布場所：BPC 事業（セミナー、展示会、国内商談会）実施会場、関連産業の展示会での企業個別アプローチ、大阪産業創造館、ジェトロ大阪、大阪商工会議所等の関連団体等

(6) その他、自主事業

海外ビジネス相談事業

企業からのニーズが高い中国・ベトナム・インドに関する相談について、投資、法務、税務、労務、ロジスティクス、仲裁等の専門アドバイザーを紹介し、各地域との取引及び現地への進出、進出後の諸問題等に関する各種個別相談を行いました。また、中小企業が抱える様々な相談に対応しました。

(7) 会員事業

IBPC 大阪の会員向けを中心にセミナーなどを開催しました。

「ビジネス英語セミナー2019」（計10回）

C. 大阪ビジネスパートナー都市交流協議会（BPC 協議会）

(1) BPC ラウンドテーブル2018 大阪の共催

・開催日：2018年8月30日（木）

・開催場所：ハイアットリージェンシー大阪 3階 Regency-E

・参加都市：大阪、香港、シンガポール、クアラルンプール、上海、ホーチミン、ムンバイ、メルボルン、天津（9都市）

・テーマ：「BPC 各都市におけるビジネスイノベーションの創出と国際競争力の強化について」

・関連行事：

○大阪市 イノベーション創出拠点 視察ツアー

○BPC ラウンドテーブルウェルカムディナー

○ナイトシティツアー

○BPC ネットワーキング昼食会（企業誘致プロモーション）

○BPC ビジネスイノベーションセミナー

○ベトナム IT 商談会 2018

○万国博覧会（World EXPO）2025 プロモーションツアー

- BPC ラウンドテーブルネットワーキングレセプション
- 大阪ベイエリア 視察ツアー

(2) BPC からの研修受入れ

- ・実施事業名：BPC 人材研修事業
- ・実施時期：2019 年 3 月 6 日（水）～3 月 15 日（金）
- ・実施場所：大阪市内等
- ・参加機関：
 - ①インド ムンバイ市
IMC 商工会議所 ムンバイ本部 アシスタント・ディレクター
 - ②中国 天津市
天津市商務局 海外投資総合課 セクションオフィサー
 - ③ベトナム ホーチミン市
ホーチミン市産業通商局ホーチミン市企業支援発展センター
情報推進エグゼクティブ
 - ④マレーシア クアラルンプール市
マレーシア貿易開発公社 (MATRADE) 変革デジタル貿易課
マネージャー
 - ⑤マレーシア クアラルンプール市
マレーシア貿易開発公社 (MATRADE)
輸出振興・市場アクセス部 中国・東北アジア課
アシスタント・マネージャー
 - ⑥オーストラリア メルボルン市
オーストラリアンインダストリーグループ (AIG)
ビジネス・国際アドバイザーサービス チームリーダー
 - ⑦オーストラリア メルボルン市
メルボルン市 スマートシティ室 スマートシティオフィサー

(3) BPC 提携先機関とのネットワーク強化

- ① 大阪市港湾局 インドネシアでのポートセールスに係るサポート
 - ・実施時期：2018 年 9 月 3 日（月）～8 日（土）
 - ・実施場所：インドネシア・ジャカルタ近郊
- ② フィリピン食品商談会 in FABEX関西2018（大阪）
 - ・開催日：2018 年 10 月 24 日（水）
 - ・開催場所：インテックス大阪 2 号館 フィリピンパビリオン
 - ・来日企業数：19 社
 - ・参加日本企業：110 社

- ・商談件数：112 件
- ③ 第1回 中国国際輸入博覧会 2018 出展支援
 - ・実施時期：2018 年 11 月 5 日(月)～10 日(土)
 - ・実施場所：国家会展中心(上海)
 - ・支援企業数：2 社(2 小間)
 - ・商談件数：173 件
- ④ タイ医療機器関連商談会2019 (大阪)
 - ・開催日：2019 年 2 月 21 日(水)
 - ・開催場所：アットビジネスセンター 大阪本町 1705 号室
 - ・来日企業数：10 社
 - ・参加日本企業：23 社
 - ・商談件数：54 件
- ⑤ “Hack Osaka 2019” 特別支援プログラムの実施
 - ・開催日：2019 年 3 月 12 日(火)～14 日(木)
 - ・開催場所：山本能楽堂、大阪イノベーションハブ、 コングレコンベンションホール
 - ・参加プログラム：Hack Award 登壇、ショーケース展示、商談会、ネットワークイベント等
 - ・支援企業：5 社 ①香港 ②シンガポール ③韓国 ソウル ④韓国 ソウル ⑤マレーシア ⑥ IMC 商工会議所 (ムンバイ) 主催のイベント参加と訪問
 - ・実施時期：2019 年 3 月 25 日(月)～26 日(火)
 - ・実施場所：インド・ムンバイ市内
 - ・実施内容：INDIA CALLING CONFERENCE 参加、IMC 商工会議所への訪問・面談、Zone Startups India の訪問・面談、Maharashtra State Innovation Society との面談

(4) 広報活動

大阪ビジネスパートナー都市交流協議会（BPC 協議会）ウェブサイトを活用した情報発信

BPC 協議会ウェブサイトを通じて、活動内容や提携機関の紹介を行い、BPC ラウンドテーブルやBPC 人材育成事業について情報発信を行いました。また、イベント情報のページを活用し、BPC 協議会が主催するイベント等を広く周知し、過去開催のイベントレポートについても、日・英の2 言語で掲載しました。

D. 大阪市上海事務所の運営を通じた交流事業

大阪の貿易振興と各種の交流促進を目的に設置されている大阪市上海事務所を運営するとともに、引合斡旋業務や経済情報等の収集・提供、外国企業の誘致をはじめ各種交流を推進しました。